

# 第6回E-KIZUNAサミット in さいたま 結果報告



## 【参加者(3県、23市町、23企業等、2教授)】

平成27年11月18日 ホテルプリランテ武蔵野

宮城県	埼玉県	神奈川県	弘前市	仙台市	つくば市
宇都宮市	高崎市	熊谷市	川口市	秩父市	戸田市
北本市	千葉市	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市
新潟市	甲府市	長野市	松本市	浜松市	鈴鹿市
上里町	さいたま市				
イオン リテール(株)	(株)HTM-Japan	(株)エヌ・ティ・ ティ・データ	カルソニック カンセイ(株)	クラリオン(株)	一般社団法人 埼玉県乗用 自動車協会
埼玉県住まい づくり協議会	埼玉県石油 商業組合	埼玉県電気 工事工業組合	公益財団法人 さいたま市 産業創造財団	住友三井 オートサービス(株)	大樹環境 システム(株)
CHAdemo 協議会	トヨタ自動車(株)	日産自動車(株)	合同会社日本 充電サービス	日本信号(株)	日本電気(株)
パーク24(株)	富士重工業(株)	本田技研 工業(株)	三菱自動車 工業(株)	ヤマト運輸(株)	
東京工業大学 柏木孝夫特命教授		埼玉大学大学院 久保田尚教授			

## 【オブザーバー(1県、2市、1企業)】

愛知県	京都市	堺市	東京ガス(株)
-----	-----	----	---------

## 【来賓(3省)】

経済産業省	国土交通省	環境省
-------	-------	-----



## テーマ「次世代モビリティの活かし方について」

### ◆E-KIZUNAサミット宣言◆

次世代モビリティの普及を目指す、我々、自治体及び企業は、電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド車(PHV)及び燃料電池自動車(FCV)の利用機会の拡大を通じて、社会の低炭素化に努めてきたところである。また、昨今の環境問題には、身近な地域の問題から地球規模のものまで、様々な要因が含まれており、中でも地球温暖化防止に向けた取組は待たなしの状況にある。

そこで、次世代モビリティに新たな可能性を見出し活用することにより、「地球温暖化対策として、更なる低炭素社会の実現」、「国土強靱化に資する、災害時の輸送手段とエネルギーセキュリティの確保」及び「少子高齢社会を見据えた、外出機会や移動手段の確保」を目指し、以下の視点を共有する。

#### 1 低炭素化に向けた次世代モビリティの役割

次世代モビリティの活用による、用途に応じた輸送用エネルギーの多様化は、運輸部門の低炭素化に加え、「動く蓄電池」や「動く発電機」として、電力負荷の平準化やエネルギーの保存・輸送といった、スマートな活用にも寄与する。

我々は、次世代モビリティを低炭素な移動手段、輸送手段として活用するとともに、平時からエネルギーネットワークの一翼を担うものとして、積極的な普及に努めるものとする。

#### 2 災害時における次世代モビリティの役割

用途に応じて輸送用エネルギーを多様化することは、災害時における調達リスクの分散に寄与する。

また、次世代モビリティの有する蓄電や発電の能力は、災害時の電源としても利用可能である。

我々は、次世代モビリティが、災害時における人の移動や物資の輸送、企業活動の継続、避難所の運営など、エネルギーセキュリティ確保の面でも、多大なる役割を担うものとして、国土強靱化に向け活用の拡大を図るものとする。

#### 3 地域交通の担い手としての次世代モビリティの役割

単身高齢者や高齢者のみの世帯、共働きの子育て世代の増加などに伴い、多様化する移動需要を満たす、負担が少なく安全・安心で快適・便利な交通手段の確保が必要である。

我々は、公共交通を補完する移動手段や生活の足として、次世代モビリティを活用したレンタルやシェアリング等、「保有」によらない「利用」も含めた、負担の少ない新たな交通システムの構築に努めるものとする。

以上、我々は、次世代モビリティの普及に向け、需要の創出とインセンティブの付与、エネルギー供給インフラの整備、地域の特性に応じた情報発信といった取組を、公・民・学それぞれの強みを生かした連携により、実践することを宣言する。

平成27年11月18日

# 第6回E-K I ZUNAサミット in さいたま 結果報告

平成27年11月18日

**ホテルブリランテ武蔵野 : 来場者数 約250名**

## ◆事例発表

「EV充電の新戦略」  
本郷安史氏 (大樹環境システム(株)代表取締役社長)



## ◆基調講演

「次世代モビリティを活用したレジリエンス強化」  
柏木孝夫氏 (東京工業大学特命教授)



## ◆パネルディスカッション

「次世代モビリティの公共交通システムとしての今後」  
コーディネーター：久保田尚氏 (埼玉大学大学院教授)  
パネリスト：吉田健一郎氏 (経済産業省製造産業局自動車課電池・次世代技術・ITS推進室長)  
西本俊幸氏 (国土交通省自動車局環境政策課長)  
黒水公博氏 (横浜市温暖化対策統括本部副本部長)  
清水勇人 (さいたま市長)



## ◆サミットにおいて取組紹介を行った団体等

- ・ 経済産業省
- ・ 環境省
- ・ 日産自動車(株)
- ・ 本田技研工業(株)
- ・ 住友三井オートサービス(株)
- ・ クラリオン(株)
- ・ 宮城県
- ・ 上里町
- ・ 国土交通省
- ・ 三菱自動車工業(株)
- ・ イオンリテール(株)
- ・ カルソニックカンセイ(株)
- ・ 埼玉県
- ・ さいたま市

## ◆自治体、企業等の取組紹介の展示 (10団体)

つくば市	横須賀市	イオンリテール(株)	カルソニックカンセイ(株)	クラリオン(株)
住友三井オートサービス(株)	東京ガス(株)	三菱自動車工業(株)	埼玉県石油商業組合	さいたま市



**ホテルブリランテ武蔵野1階試乗会場 : 試乗者数 29名**

## ◆次世代自動車の展示・試乗会

試乗車両：MIRAI、アウトランダーPHEV、MC-β・クラリティ  
展示車両：e-NV200、ミニキャブミーブ、こむぎっちカー



**さいたま新都心駅コンコース 試乗会場 : 試乗者数 196名**

## ◆パーソナルモビリティ試乗会

試乗車両：セグウェイ・UNI-CUB・Kushi

